

**郡** 山北工業高等学校 (以下、北工) ソフトボール部で活躍する吉田陽平さん (キャプテン・一塁手) と佐藤啓さん (捕手)。  
北工は、これまで夏のインターハイや春の選抜大会などの全国大会に数多く出場してきた男子ソフトボールの強豪校です。  
高校野球が脚光を浴びる世の中ですが、野球よりも小さなグラウンド内で繰り広げられるダイナミックなプレーやピッチャーの球速、試合展開の早さは見る人を魅了します。  
ソフトボールをこよなく愛し、最後のインターハイで更なる飛躍を誓った2人にインタビューしました。



## 挑戦者 第6回 考えるソフトボールに魅せられて

### 郡山北工への進学、ソフトボールの魅力

陽平…北工の体験入学時に、大森先生と話して、先輩や部の雰囲気を見て、この環境でレベルの高いソフトボールをやりたいと思いました。野球という選択肢もありましたが、自分の中ではソフトボール以外なく、ソフトボールの魅力は、野球よりも塁に出ることや、ランナーをかえすレバートリーが多いところ。常に今の状況で自分がどうするか、考えながらプレーできるのが楽しい。高校生男子のソフトボールの競技人口は決して多くはありません。だからこそ、自分たち

が結果を残して、プレーする姿を見てもらい、楽しさを伝えてソフトボールに貢献したいと思っています。啓…小学校の時にソフトボールを始め、中学校では軟式野球部に所属。どちらも経験したなかで、野球は正直向いてないと思っていました。もう一度ソフトボールがやりたいと思い、中学の早い段階で、北工に進学してソフトボール部に入ると決めていました。ソフトボールの魅力はスピード感があり、ダイナミックなプレーが多いところ。また、コートが小さいのでたくさんホームランを打つことができると今もかっこいい。ホームランを打つのに、

この体型がとても役に立っています (笑)。  
**キャプテンとして、正捕手として**  
陽平…2年生の秋にキャプテンに就任。一応、キャプテンという立場ではありませんが、それぞれが自分で考えて行動してくれるので、自分がどうこうするということとは特にありません。強いて言うなら、日々の練習で目的や目標を持つこと、一つでも二つでも何をどうするか考えて練習に挑むことを大事にしてほしいと伝えるようにしています。最初はプレッシャーもありましたが、みんなが支えてくれるので今は全然苦

に思いません。  
啓…2年生の秋から正捕手に。昨年はベンチから試合を見ていたことが多かったのですが、実際にキャッチャーの位置に立つと見える世界が違いました。見えなかったものが見えて、自分自身のやるべきことがたくさんあって、キャッチャーは縁の下の力持ちなので、みんなを鼓舞してあげたいなと思います。  
**コロナ禍での部活動、春の選抜での手応え**  
陽平…コロナ禍で練習試合がほとんどできず、自分たちのチームが今どのぐらいの位置にいるのか、どんなプレースタイルなのか、

はつきり分からないまま昨年度の秋に新人戦 (令和3年度福島県高校新人体育大会) を迎えました。無事に優勝できましたが、練習でできることが当たり前ではないことを実感し、質の高い練習を心がけるようになってきました。その後、春の選抜大会 (第40回全国高校選抜大会)、1試合目の相手はソフトボールの名門校九州産業大学付属九州高等学校 (福岡県) との対戦で、残念ながら負けてしまいました。格上のチームと対戦して、自分たちのソフトボールが全国大会で通用したうれしさがあり、夏のインターハイではしつ

かりと戦えるチームに成長したいと思っています。インターハイでは上位入賞、ベスト4が目標です。  
**これからの練習、最後の夏の大会に向けて**  
陽平…一戦必勝で、目の前の勝負で勝ち切れるようなチーム作りをしていきたいと思っています。チャンス場面できりりと点を取れる打撃ができるチームを目指します。高校生活の後悔がないように、毎日毎日全力を尽くして、自分のベストを試合で出せるように努力していきます。  
啓…残り半年は、今までやってきたことを継続しつつ、新しいことにも挑戦し



ていきたいです。自分たちが春にできなかったプレーを夏のインターハイでできるように、また、インターハイまでに基礎から応用を目指して、難しいプレーでもアウトをとれるような連携もしていきたい。悔いがないプレーをしたいと思います。

Kei Sato 佐藤 啓 捕手  
郡山北工業高等学校 3年

**Profile**  
● 生まれ / 2004年10月17日、滝根町  
● サイズ & 投打 / 173cm、108kg、右投右打  
● 球歴 / 小学校時、滝根ソフトボール少年団所属。滝根中学校進学後、軟式野球部で捕手。郡山北工業高校では2年秋からレギュラー入り、正捕手。  
● 座右の銘 / 浅い川も深く渡れ  
● 尊敬する人物 / 菊地陽未先生 (中学1年時の顧問)  
● 憧れのスポーツ選手 / 松田光選手 (平林金属ソフトボール部)  
● 習慣にしていること / グローブの手入れ  
● リフレッシュ方法 / YouTube を見ること  
● 好きな食べ物 / 牡蠣

Yohei Yoshida 吉田 陽平 一塁手  
郡山北工業高等学校 3年

**Profile**  
● 生まれ / 2004年5月18日、都路町  
● サイズ & 投打 / 168cm、60kg、左投左打  
● 球歴 / 小学校時、古道スポーツ少年団 (ソフトボール) 所属。都路中学校進学後、軟式野球部で投手。郡山北工業高校では1年秋からレギュラー入り、一塁手。2年秋から主将。  
● 座右の銘 / 準備 (自分が後悔しない準備をしたい。準備を徹底することで、技術だけでなく精神面でも余裕が生まれる)  
● 尊敬する人物 / 大森史仁監督  
● 憧れのスポーツ選手 / イチロー  
● 習慣にしていること / 早寝、早起き、お風呂で体を休める  
● リフレッシュ方法 / おいしいご飯屋さんを探して食べに行くこと  
● 好きな食べ物 / オムライス  
※ Challenger Vol.1 に掲載した高橋公太さん (福島商業高校) とは中学時代の軟式野球部でバッテリーを組んでいた親友。

大森 史仁 監督

**インターハイに向けて、2人に期待すること**  
陽平は、1年生の時から目置いていた選手。ものすごく真面目で、キャプテンとしてチームメイトに意識を高く持たせようとする動きもすばらしい。チームをまとめることはもちろんだが、あまりそれに集中しすぎず、自分の技術を見直して、どういふプレーをし

る選手になつてほしい。

啓は、始めの頃は動きが遅い面も見られたが、2年生の秋口からとてもよくなった。自分で学ぶ姿勢が非常に高い選手で、先輩から学んだり、自らいろいろな知識を取り入れたりして、どんどん動けるようになってきた。さらに練習を積んで、チャンスの場面で点を取れる選手になつてほしい。  
2人ともポテンシャルがとても高い選手。極論ではありませんが、監督がいなくてもゲームを成立させられるように、常に自分たちの物事を考えて、全国で戦える選手・チームに成長することを期待しています。